２０１０年1月　現在

DLE－３０　ガソリン　エンジン

取扱説明書

DLE　ガソリン　エンジンは模型飛行機用に専用設計された製品です。
軽量且つ高出力の本製品はトーナメント　オブ　チャンピオンズに代表されるRC機体のスケール　ダウンされた３０ｃｃクラスに最適です。
ご使用になる前に必ず説明書を参照下さい。

１．　安全第一

① ガソリン　エンジンはおもちゃではありません。　不適切な使用をしますと大きな怪我となり危険です。不適切な使用により発生した怪我、破損或いは他の損失について、弊社はその責について一切負う事はできません。

② 使用する前に必ず、エンジンのネジやボルト、ナット類の緩みがないかどうか目視確認します。　緩みやすい部分のネジ、ナット類について緩み止め防止として LOCTITE２４２等で接着固定することをお勧めします。

③ ブレークイン中、エンジンは可能な限り振動を吸収する搭載方法により行います。　激しい振動を受けながらブレークインを行いますと、短時間でエンジンが消耗する可能性があります。

④ プロペラ回転中は、プロペラ回転前面或いは側面に立たたない事。必ず、プロペラの後面に立ちます。プロペラ回転時、安全のため、眼球保護メガネ等の着用を推奨します。　紐やベルト、ストラップなどのある服装はプロペラに巻き込まれる危険性があるのでこれらの服装の着用に注意します。

２．　基本仕様

①　性能　　最大出力　　／　３．７HP@８５００ｒｐｍ
アイドル回転数　／　１６００ｒｐｍ
推力　／　８．５ｋｇ@標高１００ｍ
７．５ｋｇ@標高１８００ｍ
推奨プロペラ　サイズ　／１８ｘ８～１０、
１９ｘ８、　２０ｘ８
推奨プラグ　／　NGK　CM6

②　諸元　　総排気量　　／　３０．５ｃｍ３
ボアー　ｘ　ストローク　／　３６ｘ３０mm
圧縮比　／　７．６　：　１
潤滑比　／　３０　：　１
重量　　／　本体　９１０ｇ
マフラー　６０ｇ
CDI　ユニット　１２０ｇ

３．　エンジン調整

① 全てのエンジンは工場出荷時に平均的な地上高度及び気圧を想定の上、調整済みとしています。　しかし、それぞれの使用地の高度及び気圧の変化によりキャブレターの微調整が必要な場合があります。

添付画像内、１～５の番号を参照下さい。(製品同封の英語版説明書参照)

番号　１　：　チョーク　レバー
番号　２　：　スロットル　レバー
番号　３　：　アイドリング　調整ネジ
番号　４　：　L 側（低速）調整ネジ
番号　５　：　H 側（高速）調整ネジ

② 調整方法

番号　４の L 側調整ネジを全閉の状態より１．５回転戻します。 次に、
番号　５の H 側調整ネジを全閉の状態より１．５～２回転戻します。

次にエンジンを始動させ、H 側調整ネジで最高回転を出します。
この時、エンジンを中速～MAX と回転変化を行います。　エンジンが停止するようでしたら、燃調が"薄い“状態です。　H 側ネジを僅かに戻します。
次に低速より中速、中速より MAX へエンジン回転変化を行います。
エンジンが停止するようでしたら、燃調が"薄い“状態です。　L 側ネジを僅かに戻します。　エンジンの吹き上がりにもたつきがあるようでしたら、燃調が"濃い”状態です。　L 側ネジを僅かに締めます。

③　注意

DLE-30 エンジンは、かなり“濃い目”で運転しないこと。
燃調がかなり濃い目で運転をしますと、カーボンが付着し、プラグが煤けた状態になります。　又、かなり“薄め”で運転すると、シリンダ　ー及びピストンの焼きつき等の危険があります。　数フライト後、プラグを取り外して燃焼具合を目視確認しましょう。
薄く小金色に燃焼しているようでしたら、燃調は問題ありません。

④　補記

DLE-30 エンジンのキャブレターは１８０度回転させた位置で使用することが可能です。　変更の場合、本体下部のガスケット位置に注意して下さい。

４．　エンジンの始動

① チョークを閉じます。　次に、CDI の電源を ON にします。
スロットルは MAX 位置にします。

② プロペラを数回、強くフリップします。　爆発音がして止まる状態になります。　暫く保管したエンジンの再始動には、更に数回強くフリップする必要があります。

③ チョークを開けます。　スロットルをスロー位置にします。
再度、プロペラを数回、強くフリップしますと、エンジンが始動します。

注意　：　スロットルを全開位置でフリップするとエンジンの回転が最大となり大変危険です。可能であれば、電動スターターの利用を強く推奨致します。

５．　エンジンの保守整備

① ９３オクタンのガソリンを使用します。国内のガソリン　スタンドで供給している“レギュラー　ガソリン”で充分です。
オイルは、下記製品の使用を推奨します。
＊　ブレークイン　　ペンズ　オイル　３２：１（１はオイル）
＊　完了後　　レッド　ライン　４０：１（１はオイル）

② 低速回転で長く運転しますと、プラグにカーボンが付着する可能性があります。

③ 燃料チューブに亀裂等による燃料漏れや圧縮漏れ等が無いことを、定期的に目視確認します。

④ エンジン本体のネジやナットの緩みなどが無いことを、定期的に目視確認します。緩みがあれば、都度、増し締めします。

⑤ キャブレターの燃料フィルター　ネットを定期的に清掃します。

６．　スペシャル　パーツ

DLE-３０の静寂性を増し同時にプロペラ回転数を５％アップする特性マニホールド及びチューンド　マフラーを準備しています。
ご利用の方はお問い合わせ下さい。

７．　正式修理サービス及び販売ステーション

貴方が現在保有する DL 或いは DLE　エンジンの修理サービスを平成２２年２月１日より正式に開始致します。
DL 或いは DLE は、次の中国生産企業の製品ブランド名です。
正式名称及び所在地は以下のとおりです。
弥勒浩翔模型科技有限公司　　中国雲南省弥勒県弥陽鎮
http://www.dlpower.net

尚、DL　POWER として販売されていたエンジンは以前上記企業で生産されていた製品で、内部統合等により、社名を新たにし、DLE ENGINE として現在、生産され、日本国内の市場で販売されています。
従いまして、DL　POWER　ガソリン　エンジンの修理につきましてもお引き受けすることが可能です。

しかしながら、DLA　ENGINE につきましては、その生産元が不明であり、いかなる修理或いは補修部品の要求につきまして、お引き受けすることは出来ません。これらのサービスを行うに当り、弊社は弥勒浩翔模型科技有限公司の責任者と書面により合意を受けておりますのでご安心してサービスを活用下さい。　国内における製品営業販売につきましては、先方の会社方針により、特定販売代理店を置くということはありません。　広く一般の模型店様や個人輸入、インターネット販売等で製品を入手することが可能です。　弊社では、DLE－３０CC　エンジン本体及びこれに付属する専用マニホールド、ヘッダー　パイプ、キャニスター　マフラー及びチューンド　マフラーの販売を平成２２年２月１日より開始します。　どうぞ、ご利用下さい。

８．　依頼方法

（１）既購入品

既にご購入されたエンジンに修理が必要でありましたら下記に示す販売元へ元払いで発送下さるか、持参下さい。　製造元へ郵送の上、修理の依頼をします。

①　輸送費用（実費）は国内・国外共お客様負担。
②　修理費用（実費）はお客様負担。
③　破損状態の簡単メモを製品に同封下さい。

（２）新規購入品

新しくご購入されたエンジンは、弊社で全てエンジン本体のシリアル番号を控えます。　これに購入お客様のお名前及び住所を記載しまして「製品販売記録カード」を作成し保管致します。

①　不意の墜落や強い衝撃による本体の破損、分解による破損、本説明書に記載する取扱説明をはるかに超える条件で使用等以外により発生した不具合につきまして、製品購入日より６ヶ月以内、無償で完全製品保証を致します。
②　輸送費用及び修理費用等は全て弊社で負担いたします。
③　製品輸送時における破損はこの限りではありません。
④　破損状態の簡単メモを製品に同封下さい。
⑤　６ヶ月を過ぎた製品については（１）と同一扱いとなります。

９．　補修部品

次の補修部品を準備しています。

＊　ピストン
＊　ピストン　リング
＊　CDI　ユニット
＊　キャブレター
＊　ガスケット　セット
＊　プロペラ　ハブ　締めボルト
＊　プラグ　キャップ

御要求により、その他の部品を取り寄せることも可能です。

販売元

〒２７８－００２２
千葉県野田市山崎２７８４－１
RC　DEPOT

電話　　：　０４７１－９７－２９５８
ファクス　：　０４７１－２５－４１７８
http://www.rcdepot-jp.com/
order.rcdepot@leaf.ocn.ne.jp

以上